



「ちあぽーと」が、活躍しています！

昨年1月にオープンした「ちあぽーと」(臼杵市子ども子育て総合支援センター)は、平成28年度に延べ**13,187名**の子育て中の家族の皆様にご利用いただきました。厚生労働省は平成28年6月に全ての市町村に、平成32年度までに子育て世代包括支援センター(妊婦から子育て家族をワンストップで支援する拠点)を作るように通知を出しました。しかし、臼杵市は国の通知に先駆けて、「ちあぽーと」即ち子育て世代包括支援センターを作ったこととなります。

1) 「ちあぽーと」とは？

「ちあぽーと」の「ちあ」はチアガールのチアで「応援」を意味します。「ぽーと」は、子育て中の家族が安心して立ち寄ることができる「港」を意味します。妊娠期から18歳までの子どもや子育ての様々な相談にワンストップで切れ目のない支援を行います。臼杵市の「子ども子育て課」が対応しています。

2) ちあぽーとの4つの働き

【遊びや集いの場】

子どもや子育て中の保護者が自由に過ごせる。

【相談や支援の場】

専門職員に安心して様々な相談ができる。

【情報発信や研修の場】

子育て支援の情報を発信したり、関係団体への教育・支援などの研修ができる。

【子どもに関する手続きの場】

児童手当や福祉サービスなど手続きができる。

3) 利用状況 (グラフ①)

一番利用が多いのは「あそびの広場」です。保育士や子育て支援コーディネーターが対応するので安心して過ごせると好評です。次いで行政手続き、乳幼児健診・幼児教室、相談となっています。

4) 充実した乳幼児健診

平成28年4月から乳幼児健診を「ちあぽーと」で開始され、保護者の方が訪れるきっかけになりました。健診の際も保育士や臨床心理士のサポートもあるので、安心して健診を受けることができます。

5) 相談は多職種チームの連携で対応 (グラフ②)

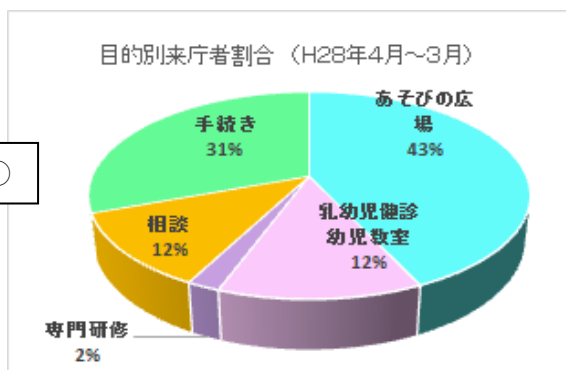
相談内容は、養育・育児と健康・保健関連が多く、次いで生活・家庭内トラブル、巡回発達相談と続きます。相談は「離乳食のこと」「トイレトレーニング」などの簡単なものから、子どもの発達関連、夫婦間トラブル、貧困、子供の不登校などの重い課題など多岐にわたります。

相談内容によっては、保健師、臨床心理士、児童相談員、ひとり親自立支援員、生活保護担当、スクールソーシャルワーカーなどがチームを組んで対応することもあり、「ちあぽーと」ができたことでスムーズな連携が取れるようになりました。

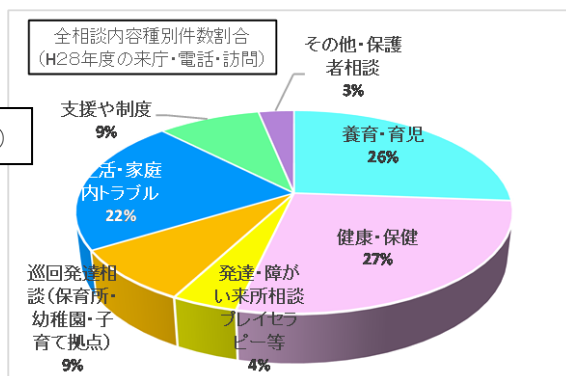
6) 母子手帳の交付時から支援がはじまります

母子健康手帳の交付の時に、保健師が相談室(個室)でじっくりと話しをお聞きします。そのことで、早期に妊婦さんの困りや問題点を拾い上げ、妊娠期から支援につなげることができています。

グラフ①



グラフ②



「子どものこと」や「子育て」で分からないこと、困ったことがあれば、まず「ちあぽーと」に相談してみましょう！

「ちあぽーと」0972-86-2716

